

PCI- USERS MANUAL

WIRELESS LAN ADAPTER

GW-NS110/NS110PX

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

PCI-
USERS MANUAL
WIRELESS LAN ADAPTER

GW-NS110/NS110PX

ご使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解(アンテナ部分を含む)
- ・適合証明ラベルの剥離

- 1.本製品で使用する1～13チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない14チャンネルに設定されています。

使用周波数帯域…2.4GHz

変調方式……………DS-SS方式

想定干渉距離……40m以下

周波数変更の可否 2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

- 2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

第3章～第4章 ドライバインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。
ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。



第3章
Windows98



第4章
WindowsNT4.0

第5章 アダプタユーティリティのインストールと設定

アダプタユーティリティのインストールと設定について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

付録C 設置環境への注意

設置環境での注意事項を説明します。

《マニュアル内の表記について》
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章 はじめに

1. 概要 1
2. 特長 2
3. 対応機種および対応ネットワーク 2
4. 梱包内容の確認 3
5. 各部の名称 3
6. 付属のドライバ/ユーティリティ・ディスクの内容 5

第2章 アダプタのインストール

1. アダプタ・インストレーション 7
2. アダプタの取り外し 8
3. コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて 8

第3章 Windows98

1. ドライバのインストール 11
2. インストールの確認 16
3. ドライバの削除方法 19

第4章 WindowsNT4.0

1. 空きリソースの確認 23
2. ドライバのインストール 27
3. ドライバの削除 38

第5章 アダプタユーティリティのインストールと設定

1. アダプタユーティリティのインストール 41
2. GeoWave Wireless Lan Utilityを使用する 45

付録A トラブルシューティング 55

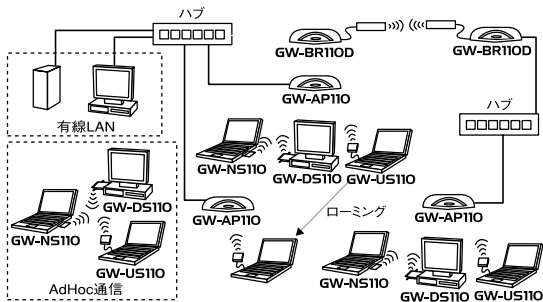
付録B 仕様 57

付録C 設置環境への注意 59

はじめに

1. 概要

GW-NS110/NS110PXは、PCMCIA TypellスロットをもつIBM PC互換機上で使用可能なWireless LANアダプタです。本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うことなくネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させることなく使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことができます。



ワイヤレスLAN構築図

2. 特長

PCMCIA Type スロット

IEEE802.11/802.11b 準拠

ARIB STD-33A/STD-T66準拠

ノイズに強いDS-SS方式

2.4～2.497GHz周波数帯を使用

14チャンネルサポート

11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識

ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現

11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90mまでの通信が可能

(屋内使用時、見通し距離)

高感度ダイバシティアンテナ採用

アンテナを別売のオプションアンテナGW-NSANTに変更可能

(GW-NS110のみ)

通信状況が簡単に確認出来る2つのLEDを装備

異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応

セットアップユーティリティ付属

低消費電力

3. 対応機種および対応ネットワーク

GW-NS110/NS110PXの対応機種および対応OSは以下のようになっています。

< 対応機種 >

IBM PC互換機(DOS/V)

< 対応OS >

Windows98/95

WindowsNT4.0

4. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

GW-NS110/NS110PX Wireless LANアダプタ
ドライバ/ユーティリティ・ディスク 1枚
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5. 各部の名称

GW-NS110/NS110PXにはコンピュータに接続するための68ピンコネクタとデータを受信するためのアンテナ部があります。



図1-1 GW-NS110

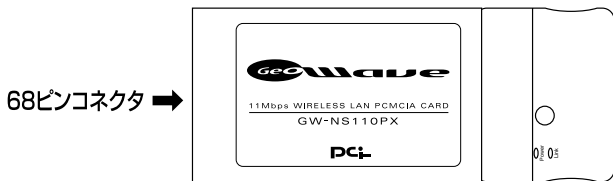


図1-2 GW-NS110PX

本製品本体には、2つのLEDインディケータを備えています。

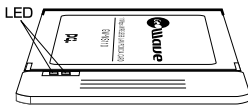


図1-3 GW-NS110 LED

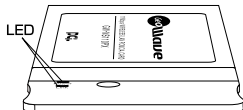


図1-4 GW-NS110PX LED

< Power >

電源が供給されている場合に点灯します。

< Act >

このインディケータが点滅している場合はアダプタがデータの送受信を行っていることを意味します。

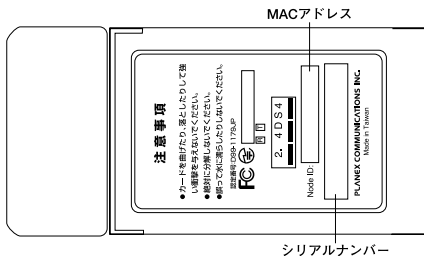


図1-5 カード裏面

< 注意事項 >

本製品使用時の注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

< シリアルナンバー >

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

< MACアドレス >

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。

6. 付属ドライバ/ユーティリティ・ディスクの内容

付属のドライバ/ユーティリティ・ディスクのディレクトリおよびファイル構成は次のようになっています。

Oemsetup.inf
NS110.inf
NS110.sys
NS110dlg.dll
NS110hlp.hlp
¥utility

アダプタのインストール

本章ではコンピュータへのアダプタのインストール方法およびネットワーク・ケーブルの接続について説明します。アダプタのインストールは以下の手順で行います。

1. アダプタ・インストール

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. GW-NS110/NS110PXのラベル面を上にしてコンピュータの空いているPCカードスロットに挿入してください。

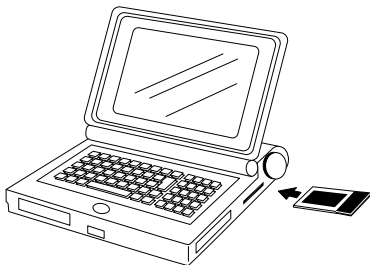


図2-1 PCカードスロットへの挿入

⚠ 注意

通常はGW-NS110/NS110PXのラベル面を上にしてコンピュータに挿入しますが、コンピュータの機種によってはラベル面が下になる場合もあります。コンピュータのマニュアルをご確認ください。

2. アダプタの取り外し

GW-NS110/NS110PXをコンピュータから取り外す際は以下の手順で行ってください。なお、Windows95/98環境ではコンピュータの動作中にアダプタの取り付け取り外しを行うことが可能です。コンピュータ動作中の取り外しについては次の「2-3 コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて」の方法で行ってください。

アダプタの取り外し

1. コンピュータの電源を切ってください。

注意

Windows95/98以外のOSでアダプタを取り外す際は必ずコンピュータの電源を切ってください。

2. コンピュータのマニュアルを参照し、コンピュータからPCカードを取り外してください。アンテナ部分を引っ張って取り外すことはしないでください。アンテナの破損につながります。

3. コンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しについて

GW-NS110/NS110PXはWindows95/98環境でのみコンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しに対応しています。Windows95/98環境でコンピュータの動作中にアダプタの取り付け・取り外しを行う場合は以下の手順で行ってください。

注意

WindowsNT等、Windows95/98以外のOSではコンピュータ動作中のアダプタの取り付け・取り外しには対応していません。Windows95/98以外のOSでアダプタの取り付け・取り外しを行う場合は必ずコンピュータの電源を切ってください。

アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じてください。
2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをクリックしてください。



3. 「GW-NS110/NS110PX Wireless LAN PC Card の中止」というメッセージが表示されます。これをクリックしてください。

GeoWave/GW-NS110 Wireless LAN Card の中止

4. 「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



5. GW-NS110/NS110PXをコンピュータのPCカードスロットから取り外してください。

▲ 注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

アダプタの取り付け

1. コンピュータの空いているPCカードスロットにGW-NS110/NS110PXを挿入してください。
2. すでにドライバがインストールされていれば画面右下にPCカードアイコンが表示されます。



Windows98

ここでは、GW-NS110/NS110PXをWindows98で使用する場合の設定方法について説明します。

1. ドライバのインストール

1. コンピュータのPCMCIAスロットにGW-NS110/NS110PXをセットし、コンピュータの電源を入れてください。
2. Windows98起動時にGW-NS110/NS110PXが自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 4 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[フロッピーディスクドライブ] のみをチェックし、他の項目からはチェックを外してください。



5. GW-NS110/NS110PX付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、[次へ]ボタンをクリックしてください。
6. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



7. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に Windows98 CD-ROMを要求するメッセージが表示された場合は、Windows98のCD-ROMをセットして[OK]ボタンをクリックしてください。



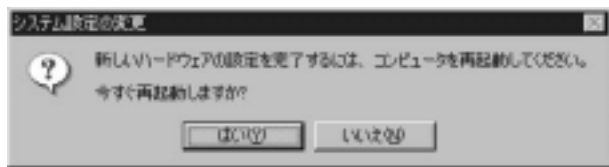
8. ファイルのコピーが終了後、「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」というメッセージが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。



9. 続いてワイヤレスLANアダプタのパラメータを設定する為のプロパティが表示されます。すでに各設定のパラメータが用意されている場合は必要なパラメータを設定してください。完了後、「OK」ボタンをクリックしてください。これらのプロパティと同様の設定は、本製品に付属のユーティリティからでも可能です。詳細は、5章アダプタユーティリティのインストールと設定を参照してください。



10. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい] ボタンをクリックしてください。



2. インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

- 1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、そこから [コントロールパネル] をダブルクリックしてください。

2[システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。3-3の手順でドライバを一旦削除してから3-1の手順で再度インストールしてください。



3. 「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」を選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



3. ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックすると「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」が表示されるのでこれを選択し[削除] ボタンをクリックしてください。



表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の[+]マークをクリックしたときに「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」が表示される場合はこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので [はい] ボタンをクリックしてください。



3. コンピュータを再起動してください。

WindowsNT4.0

こここでは、GW-NS110/NS110PXをWindowsNT4.0で使用する
場合の設定方法について説明します。

1. 空きリソースの確認

WindowsNT4.0はプラグ&プレイに対応していません。GW-NS110/
NS110PXが使用するリソースは手動で設定する必要があります。
このためGW-NS110/NS110PXを設定する前にあらかじめ空いてい
るリソースの確認をしておかなければなりません。以下の手順でリ
ソースを確認してください。

1.WindowsNT4.0を起動してください。「スタート」メニュー 「プ
ログラム」 「管理ツール」 「WindowsNT診断プログラム」と
選択してください。

2. 診断プログラムが起動したら[リソース]タブをクリックしてください。



3[IRQ]ボタンをクリックし、IRQの使用状況を確認してください。
GW-NS110/NS110PXで設定可能なIRQは 3、4、5、9、10、11、12、
14、15です。これらのうちで使用可能なIRQをメモしておいてく
ださい。初期設定値は 10 です。



4[I/Oポート]ボタンをクリックし、I/Oポートの使用状況を確認してください。GW-NS110/NS110PXで設定可能なI/Oポートは 100、140、180、1C0、200、240、280、2C0、300、340、380、3C0、400、440、480、4C0、500、540、580、5C0、600です。これらのうちで使用可能なI/Oポートをメモしておいてください。初期設定値は 280 です。

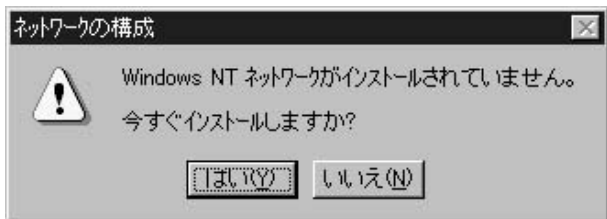


2. ドライバのインストール

WindowsNT4.0では、はじめてネットワークを設定する場合とすでにネットワークの設定を行ったことがある場合とでドライバのインストール方法が異なります。

はじめてネットワークの設定を行う場合

- 1.GW-NS110/NS110PXをコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れWindowsNT4.0を起動してください。
- 2.「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いてください。
- 3.「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
- 4.「WindowsNTネットワークがインストールされていません。」メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークセットアップ」ウィザードが表示されます。「ネットワークに接続」を選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。



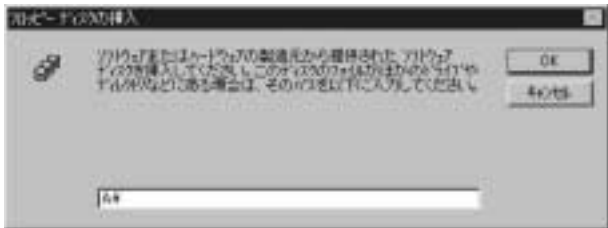
6. アダプタの検索の画面が表示されます。ここでは検索は行わないで[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。



- 7.アダプタの選択の画面が表示されます。[ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



- 8.GW-NS110/NS110PX付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットしてください。ドライバのパスに a:¥(フロッピードライブがAドライブの場合)と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。



9. 「OEMオプションの選択」画面が表示されます。「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



10. 「ネットワークアダプタ」の「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」をチェックして[次へ] ボタンをクリックしてください。



11.必要なネットワークプロトコルをチェックして[次へ]ボタンをクリックしてください。

注:以降の説明はTCP/IPプロトコルのみを選択した場合の説明です。必要なプロトコルについてはネットワーク管理者にご相談ください。



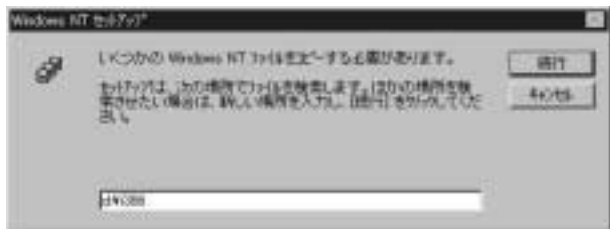
12.ネットワークサービスの追加画面が表示されます。追加が必要であれば[一覧から選択]ボタンをクリックして追加を行ってください。



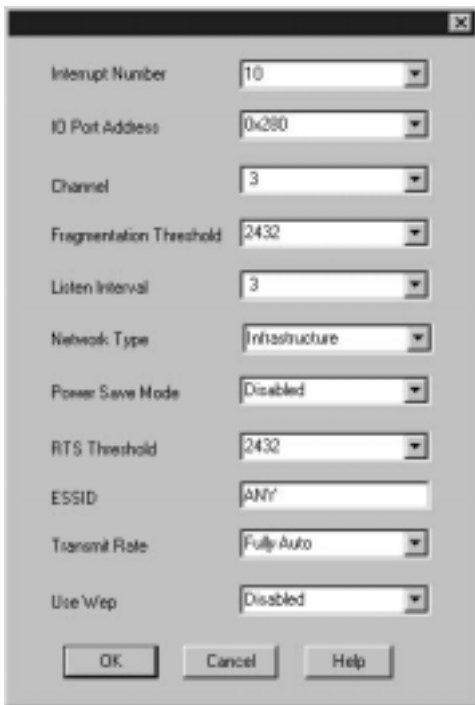
13.[次へ]ボタンをクリックしてください。



14.ファイルの検索場所を入力する画面が表示されます。WindowsNTのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、d:¥i386(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力してください。[続行]ボタンをクリックしてください。



15. GW-NS110/NS110PXの設定画面が表示されます。GW-NS110/NS110PXが使用するリソース、I/Oポート(I/O Base)、IRQ (Interrupt)を設定してください。リソースが競合するとGW-NS110/NS110PXは正常に動作しません。4-1で確認した空きリソースを設定してください。[OK]ボタンをクリックしてください。



Interrupt Number	10
I/O Port Address	0x280
Channel	3
Fragmentation Threshold	2432
Listen Interval	3
Network Type	Infrastructure
Power Save Mode	Disabled
RTS Threshold	2432
ESSID	ANY
Transmit Rate	Fully Auto
Use Wep	Disabled

OK Cancel Help

16. DHCPサーバを使用するか確認する画面が表示されます。ネットワーク管理者に確認しDHCPサーバを使用するのであれば[はい]を、しないのであれば[いいえ]をクリックしてください。



17. DHCPサーバを使用しないを選択した場合、IPアドレスの入力画面が表示されます。IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等必要な値を入力してください。ネットワーク管理者に相談し、必要であればDNSやWINSアドレスの設定を行ってください。[OK]ボタンをクリックしてください。



18. バインドの設定画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



19. 「ネットワークを起動する準備が整いました。」のメッセージが表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



20. ワークグループ名を入力する画面が表示されます。ワークグループ名またはドメイン名を入力して[次へ]ボタンをクリックしてください。



21. [完了]ボタンをクリックしてください。



22. フロッピーディスクを取り出してから、[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。
23. 再起動後、「4-1 空きリソースの確認」を参照してもう一度「WindowsNT診断プログラム」を実行し、アダプタに正常にリソースが割り当てられているかを確認してください。GW-NS110/NS110PXはリソース画面上では NS110/NS110PX という名前で表示されます。



すでにネットワークの設定を行ったことがある場合

1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら、[アダプタ]タブをクリックしてください。
4. [追加]ボタンをクリックしてください。
5. GW-NS110/NS110PX付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、ドライバのパスに a:¥ (フロッピードライブがAドライブの場合)と入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
6. 画面の指示に従ってドライバのインストールを行ってください。

3. ドライバの削除

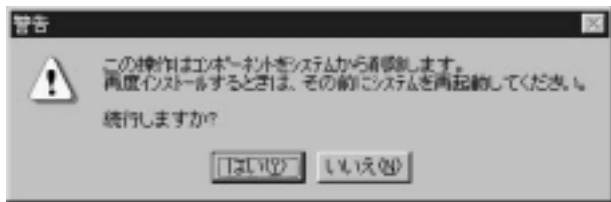
GW-NS110/NS110PXのドライバを削除する場合は以下の手順で実行してください。

1. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」と開いてください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。

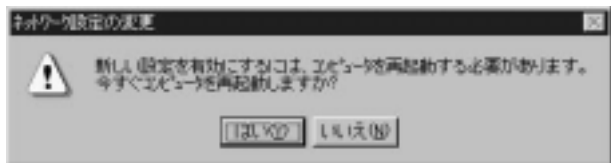
3. 「ネットワーク」ウィンドウが表示されたら、[アダプタ]タブをクリックしてください。



4. ネットワークアダプタのリストから「GeoWave/GW-NS110/NS110PX Wireless LAN Card」を選択して[削除]ボタンをクリックしてください。
5. 削除の警告画面が表示されるので[はい]ボタンをクリックして続行してください。



- 6 [閉じる]ボタンをクリックしてください。
- 7 [はい]を選択してコンピュータを再起動してください。



アダプタユーティリティの インストールと設定

G W-NS110/NS110PXのドライバ・ディスクにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

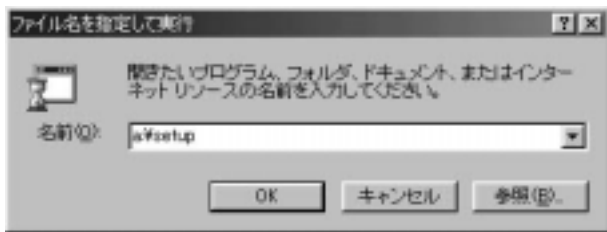
GW-NS110/NS110PXの現在の構成を表示します。

GW-NS110/NS110PXのワイヤレスネットワーク設定を行います。

GW-NS110/NS110PXの基本的機能の診断を行います。

1. アダプタユーティリティのインストール

1. 本製品に付属のドライバ/ユーティリティディスクをコンピュータのフロッピー・ディスク・ドライブに挿入してください。
2. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択してください。表示されるウィンドウに「a:\Setup.exe」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



3. インストーラが起動してインストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は、「Browse」ボタンをクリックしてください。続行する場合は、「Next」ボタンをクリックしてください。



4. プログラムフォルダリストに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更される場合は、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「Next」ボタンをクリックしてください。



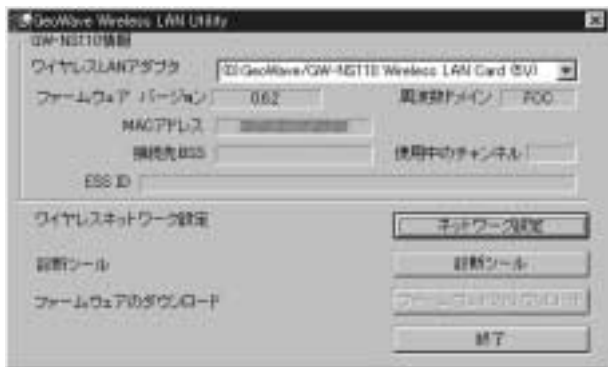
5. 「Setup Complete」ウィンドウが表示されたら「Finish」ボタンをクリックしてください。



これでインストールは、完了です。

2. GeoWave Wireless Lan Utilityを使用する

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「プログラム」 「GeoWave」フォルダ内の「GeoWave Wireless Lan Utility」アイコンをクリックしてユーティリティを起動します。以下のメインウィンドウが表示されます。



GW-NS110/NS110PXの現在の構成を表示します。

ウィンドウ上部には、現在の設定情報が表示されます。

<ワイヤレスLANアダプタ>

使用中のワイヤレスLANアダプタの名称です。

<ファームウェアバージョン>

使用中のファームウェアバージョンです。

<周波数ドメイン>

使用周波数のドメイン名です。本製品は、日本のレギュレーションに適合しているため「TELEC」と表示されます。

<MACアドレス>

本製品に設定されているMACアドレスが表示されます。

< 接続先BSS >

接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

< 使用中のチャンネル >

現在使用中のチャンネル番号が表示されます。

< ESS ID >

現在設定されているESS IDが表示されます。

GW-NS110/NS110PXのワイヤレスネットワーク設定を行います。

メインウィンドウから「ワイヤレスネットワーク設定」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



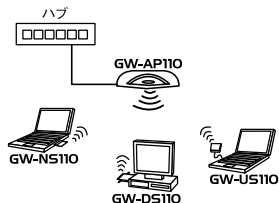
< ESS-IDの設定 >

ESS-IDを設定することによりワイヤレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS-IDを設定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ないためセキュリティとしても機能します。

ESS-IDを設定する場合は「設定する」ラジオボタンをチェックしてESS-IDを入力してください。設定しない場合は「設定しない」ラジオボタンをチェックします。

< ネットワークタイプの設定 >

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードとアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードがあります。アドホックモードで使用する場合は同じグループのコンピュータは全て同じチャンネル番号を使用する必要があります。



インフラストラクチャモード



アドホックモード

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「インフラストラクチャ(アクセスポイントを使用する)」ラジオボタンをチェックしてください。

アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「アドホック(アクセスポイントを使用しない)」ラジオボタンをチェックしてください。「チャンネル設定」リストボックスから使用するチャンネル番号を選択してください。

RTS しきい値：

RTSしきい値は「隠れ端末」が原因で通信の転送効率が落ちてしまう場合に有効です。「有効」に設定すると端末からの転送されるパケットサイズがここで設定されたしきい値を超えた場合にRTS/CTSアルゴリズムを実行します。「隠れ端末」がない場合は「無効」に設定してください。

「無効にする」ラジオボタンをチェックするとRTSしきい値を設定しません。

「有効にする」ラジオボタンをチェックするとRTSしきい値を設定します。50～1500の間でスライダを設定してください

フラグしきい値：

ここで設定された値を超えるすべてのパケットを設定されたサイズに分割して転送します。これによりグループ内の他のコンピュータが通信できる確率がより高くなります。大きいファイルサイズを頻繁に転送する場合は無効に設定して下さい。

「無効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定しません。

「有効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定します。50～1500の間でスライダを設定して下さい。

< WEP (Wired Equivalent Privacy) の設定 >

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定してください。

1. 「有効にする」ラジオボタンをチェックしてください。「暗号キー」ボタンがクリック可能になります。「暗号キー」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



2. 「パスワード」にキーワードを入力してください。
3. 「作成」ボタンをクリックしてください。「キー-1」から「キー-4」までのボックスに入力されたキーワードを元にした暗号キーが表示されます。

4. 「初期設定キー」リストボックスに作成された4個のキーから使用するキーの番号を選択してください。
5. 「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

< 省電力機能 >

省電力機能を設定することができます。

「無効にする」省電力機能を無効に設定します。

「有効にする」省電力機能を有効に設定します。

< 転送速度 >

転送速度を設定することが出来ます。Auto/1/2/5.5/11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど転送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は転送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。リストボックスから選択可能な速度は以下の通りです。

「Fixed 1Mb/s」 転送速度を1Mb/sに固定します。

「Fixed 2Mb/s」 転送速度を2Mb/sに固定します。

「Auto Select 1 or 2Mb/s」 転送速度を1又は2Mb/sから自動的に選択します。

「Fixed 5.5Mb/s」 転送速度を5.5Mb/sに固定します。

「Fixed 11Mb/s」 転送速度を11Mb/sに固定します。

「Fully Auto」 転送速度を自動的に選択します。

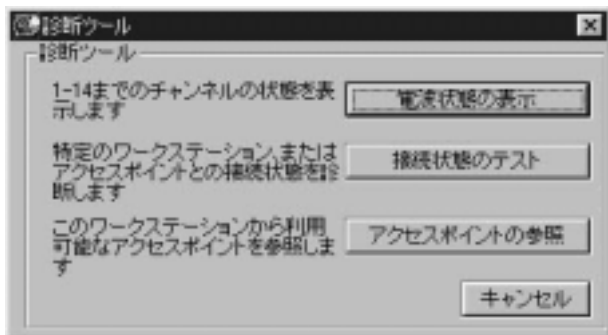
< 初期値ボタン >

全ての設定を初期設定に戻します。

全ての設定が完了したら「変更」ボタンをクリックしてください。
全ての設定は、コンピュータの再起動後、有効になります。

GW-NS110/NS110PXの基本機能の診断を行います。

GeoWave Wireless Lan Utilityは、各チャンネルの電波状態をグラフで表示可能なサイトサーベイや、特定のステーションまたはアクセスポイントとの通信テスト、使用可能なアクセスポイントの参照などの機能を装備しています。メインウィンドウから「診断ツールボタン」をクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



「電波状態の表示」ボタン

各チャンネルの電波状態をグラフで表示することが可能です。バーの高さや色は、混信や干渉等のクオリティを表します。

青：最適

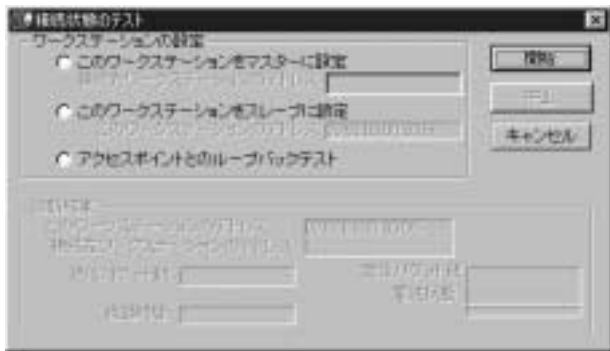
黄：良好

赤：問題あり



「接続状態のテスト」ボタン

特定の端末またはアクセスポイントと接続状態のテストを行います。端末同士の接続状態のテストを行うにはマスター、スレーブに設定した2台のコンピュータが必要です。使用するコンピュータをマスター、スレーブのいずれかに設定してください。「接続状態のテスト」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



「このワークステーションをマスターに設定」ラジオボタン

使用するコンピュータをマスターに設定します。「接続先ワークステーション」の欄にスレーブに設定する端末のMACアドレスを入力してください。

「このワークステーションをスレーブに設定」ラジオボタン

使用するコンピュータをスレーブに設定します。

「アクセスポイントとのループバックテスト」ラジオボタン

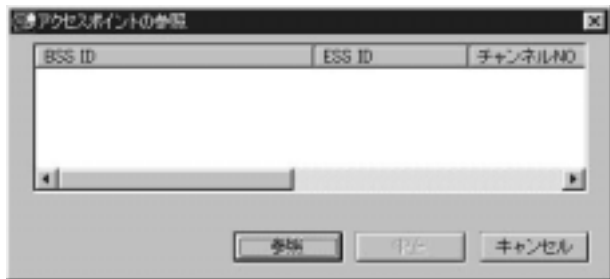
特定のアクセスポイントとのループバックテストをおこないます。

「開始」ボタン

設定された条件で通信テストを開始します。テスト結果は、ウィンドウの下側の「診断結果」欄に表示されます。

「アクセスポイントの参照」ボタン

利用可能なアクセスポイントの参照を行います。「アクセスポイントの参照」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。検索を開始するには、「参照」ボタンをクリックしてください。



トラブルシューティング

こ ここではアダプタのインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

Windows95/98のデバイスマネージャでアダプタに「！」マークが表示される。

リソースの競合が考えられます。デバイスマネージャでGW-NS110/NS110PXのプロパティを開き、[リソース]タブをクリックしてください。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。

ドライバのインストール時に他にPCMCIAデバイス(SCSI、サウンドカード等)がインストールされていた場合は、いったんこれらのデバイスをはずした状態でドライバの再インストールを行ってください。

Windows95/98のデバイスマネージャでPCMCIAソケットが表示されない。

PCMCIAソケットを有効にする必要があります。コントロールパネルの「PCカード」アイコンをダブルクリックしてください。「PCカード」ウィザードが起動します。画面の指示に従ってPCMCIAソケットを有効にしてください。

Windows95/98のデバイスマネージャでPCMCIAソケットに「！」マークが表示される。

PCMCIAソケットのドライバが正常にインストールされていない可能性があります。デバイスマネージャでPCMCIAソケットの下のPCMCIAコントローラを選択し、[削除] ボタンをクリックしてください。「デバイス削除の確認」ウィンドウが表示されるので[OK] ボタンをクリックしてください。削除が終了したら[閉じる] ボタンをクリックし、その後コンピュータを再起動してください。

再起動時にPCMCIAソケットが自動的に検出されます。画面の指示に従ってPCMCIAソケットのドライバをインストールしてください。

PCMCIAソケットが自動的に検出されなかった場合は、コントロールパネルのハードウェアで自動検出を行ってください。

仕様

準拠する規格	IEEE802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66準拠、PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2
バス・タイプ	PCMCIA Typell
転送速度	1/2/5.5/11Mbps
周波数帯	2.4 ~ 2.497GHz
チャンネル数	14ch
通信距離	11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90m(屋内使用時、見通し距離) 環境により上記距離を満たせない場合があります。
アンテナタイプ	ダイバシティアンテナ
アンテナ感度	-83dBm
変調方式	CCK(11Mbps、5.5Mbps) DQPSK(2Mbps) DBPSK(1Mbps)
LEDインディケータ	Power、Act
消費電力	+5V DC、70mA
外形寸法	85.6mm x 54mm x 5mm
重量	35g
動作温度	0 ~ 65
動作湿度	10 ~ 90%(結露しないこと)
EMI	FCC Part 15 Class B

設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-3256-9207

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電話		F A X	
E-MAIL			

製品名	WIRELESS LAN ADAPTER
型番 Product No.	GW-NS110/NS110PX
製造番号 Serial No.	

INTERFACE
CARD

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

ご使用の
パソコン
について

メーカー			
型番			
その他使用中のカード(SCSI / Sound Card等)	IRQ	I/O ADDR	

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

- 1.ユーザー登録を行っていない場合
- 2.購入日が明記されていない場合
- 3.取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
- 4.お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
- 5.火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

免責事項

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	WIRELESS LAN ADAPTER
型番 Product No.	GW-NS110/NS110PX
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいませようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

グリーンマークについて



本製品は、グリーンマーク事業に協賛し、パッケージに再生紙を利用しています。グリーンマーク事業とは、紙のリサイクルを推進することを目的とした事業ですが、併せて環境の緑化も目的としています。パッケージ裏面にあるグリーンマークを、学校あるいは町内会、自治体単位で集め、財団法人古紙再生促進センターに送っていただくと、苗木、またはセンターオリジナルのノートが送られます。詳しくは、財団法人古紙再生促進センター（電話 03-3541-9171）までお問い合わせ下さい。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町1-7
ウイン神田高橋ビル5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦 年 月 日
製品名	WIRELESS LAN ADAPTER
型番 Product No.	GW-NS110/NS110PX
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

GW-NSANT

11Mbps無線LAN外部アンテナ

GW-NSANTはGW-NS110専用のオプションアンテナです。本製品を使用することによりコンピュータの位置を動かすことなく送受信の感度を上げることが可能になります。

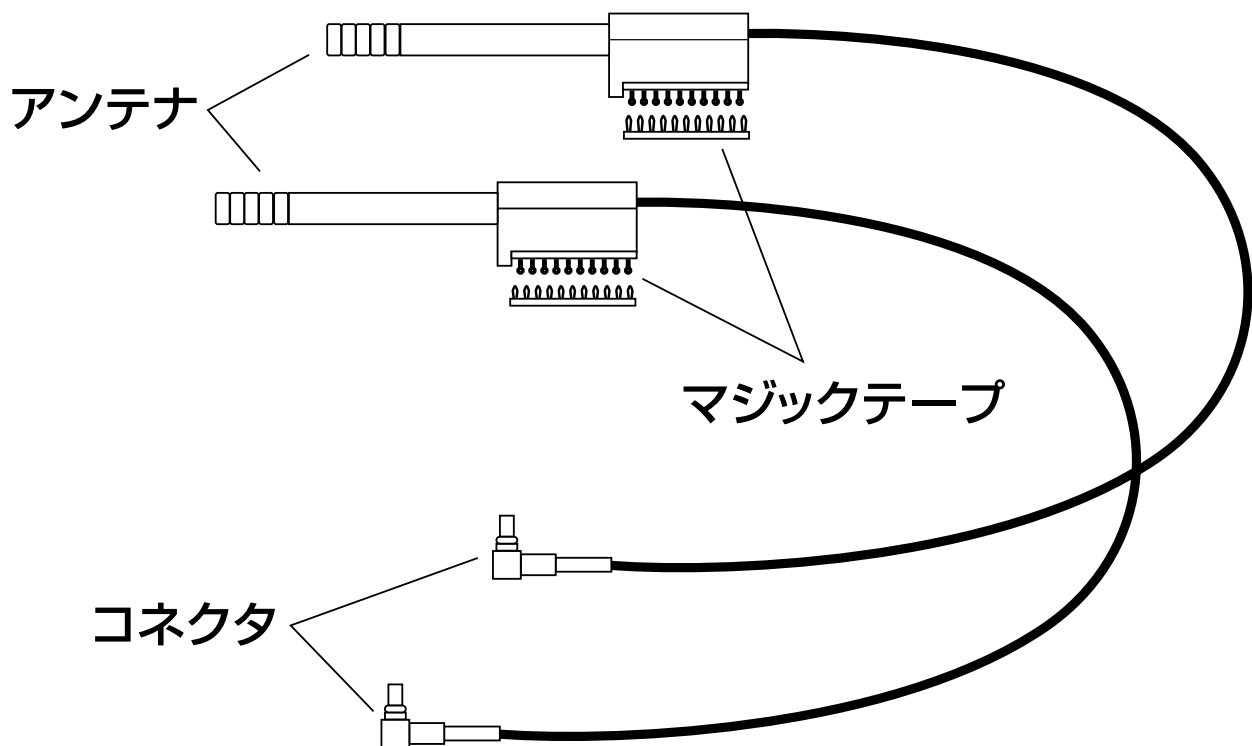


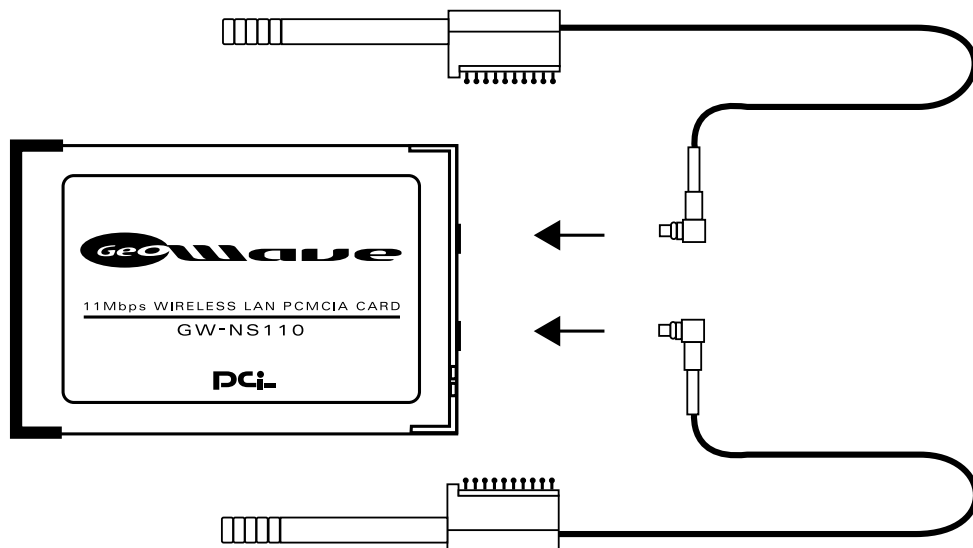
図 GW-NSANT本体

GW-NSANTのGW-NS110への取付け

①GW-NS110からアンテナを取り外して下さい。



②GW-NSANT を2本ともGW-NS110に取り付けて下さい。



GW-NS110から取り外したアンテナは大切に保管してください。



GW-NS110 / NS110PX Wireless LAN Adapter Windows 2000 インストールマニュアル

■インストール手順

- 1.本製品をコンピュータのPCカード(PCMCIA)スロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。
- 2.Windows起動時に本製品が自動的に認識され「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
- 3.「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし[次へ]をクリックします。
- 4.検索場所を指定するウィンドウが表示されるので「場所を指定」のみをチェックし他の項目からはチェックを外します。[次へ]をクリックします。
- 5.「製造元のファイルのコピー元」に A:¥WIN2000 と入力して[OK]をクリックします。
- 6.「ドライバファイルの検索」の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。
- 7.「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されますが[はい]をクリックしてください。
- 8.しばらくすると「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました」と表示されます。[完了]をクリックします。

■インストールの確認

- 1.「スタート」メニューから「設定」を選択し「コントロールパネル」をクリックします。「システム」アイコンをダブルクリックして「ハードウェア」タブをクリックします。
- 2.「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
- 3.「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし「GeoWave/GW-NS110 / NS110PX Wireless LAN Card (5V)」と表示され「!」マークや「×」マークがついていないことを確認してください。